

東中國キリスト者

障害を共に学び共に担う会

福音

説教

「二重のミステリーとしての復活」

マルコによる福音書 16章1～8節

日本キリスト教団 倉敷水島教会

牧師 小岩 輝



第一五五号

一〇二年五月十二日発行

イースターおめでとうございます。紙面を通して皆様と共にイースターの喜びを共有できますことを感謝いたします。

説教

コロナ禍の教会

岡山教会・感知 武 (3)

倉敷教会・宮脇俊昭 (4)

瀬戸町教会・料治睦美 (5)

湖山教会・森下久美子 (6)

玉島教会・遠藤ゆり子 (6)

八頭教会・岡田裕子 (1)

加東教会・森 美樹 (8)

清水章文 (9)

難波幸矢 (10)

会計報塗口 (10)

編集後記 (10)

小岩 輝牧師 (1)

目次

トロや弟子たちに告げるようメッセージを託されているにも拘らず、誰にも言わなかつたとあります。それでどうやってペトロたちはイエス様の復活を知り、さらには復活されたイエス様に出会つたのだろうか、そんな疑問すら湧いてきます。パウロも、イエス様が三日目に復活し、ケファア(ペトロ)に現れ、十一人の弟子たちに現れたことを書いています(コリント一15・

4～5)コリント書よりも後に書かれたマルコ福音書の著者が、それを知らないはずはなく、むしろ弟子たちと復活されたイエス様との再会の場面により復活の証言をしようとは考えなかつた、ということになります。こうして私たちは、イエス様の復活について新たに考える機会を与えられているのです。

では、マルコ福音書が述べるイエス様の復活とは、いかなることでありましょう。鍵となる言葉は、7節の「あの方は、あなたがたより先にガリラヤへ行かれる」という言葉です。田川建三さんによれば、全く同じ記載がマタイ福音書にも出て来ることを指摘し、「先に行く」(プロアゴー)という動詞の用法の違いから、マタイ福音書では“時間的な意味”に「先に行く」、マルコ福音書では“場所的な意味”に「先に行く」という違いがあると述べています。この見解に立てば、マルコ福音書では、イエス様が時間的に先にガリラヤに行くとて弟子たちの先頭に立つて行く話になります。これが、マルコ福音書10章32節において、「イエスは先頭に立つて進んで行かれた」という同じ動詞(下線部)によつて説明されるのです。この点は、マルコ

福音書が伝えるイエス様の復活後の出会いが、マタイ福音書の理解とは異なることを示しています。それでは、どういうことになるのか。マルコ福音書において、若者が言う「あの方は、あなたがたより先にガリラヤへ行かれる」という言葉は、「あの方（イエス様）は、あなたの方の先頭に立て、あなたの方とガリラヤへ行く」というよう理解できるのです。すなわち、マタイ福音書では、ガリラヤへ行つたら復活後のイエス様に出会えるという筋書きですが、マルコ福音書では、ガリラヤへ行く前に既にあなたがたはイエス様と一緒にいる、イエス様にお目にかかるつている、ということになります。実にミステリーです。

ところで話は変わりますが、この原稿を執筆中の洗足木曜日から受難日の金曜日まで、私は体調を崩しておりました。水曜日の午後に打った新型コロナウイルスの3回目のワクチンの副反応が原因でした。初めは、前日からの長時間にわたる立ち仕事のせいと思っていましたが、徐々に足が動かせぬほどの痛みとなり、寝込んでいます。熱と関節の痛みによつて、寝床に臥せつっていました。痛みと苦しみで朦朧とした

福音書が伝えるイエス様の復活後の出会いが、マタイ福音書の理解とは異なることを示しています。それでは、どういうことになるのか。マルコ福音書において、若者が言う「あの方は、あなたがたより先にガリラヤへ行かれる」という言葉は、「あの方（イエス様）は、あなたの方の先頭に立て、あなたの方とガリラヤへ行く」というよう理解できるのです。すなわち、マタイ福音書では、ガリラヤへ行つたら復活後のイエス様に出会えるという筋書きですが、マルコ福音書では、ガリラヤへ行く前に既にあなたがたはイエス様と一緒にいる、イエス様にお目にかかるつている、ということになります。実にミステリーです。

子ども心にも神さまがいらっしゃることを知っていた私は、残念ながら神さまとの出会いといったリアルな体験には恵まれず、イエス様は自分とは関係のない謎の人物に過ぎませんでした。でも後になって、あの熱でうなされて、苦しんでいた小学生の頃、何で耐えられたのだろうか、と幾度も考えることになりました。そればかりではありません。クラス全員からいじめを受けていた中学生の頃、大学受験に三度も失敗して浪人をしていた頃、教授からアカデミック・ハラスメントを受けた大学院生の頃、職人気質の仕事で上司からしごかれた社会人の頃、思い返すたびに嫌な気持ちでいっぱいになるのですが、何での時耐えられたのだろうかと考えざるを得ないのです。その謎を解くことが私の使命であるかのように。親にも友達にも先生にも頼れ

状態で思い出されたのは、私の小さい頃の記憶でした。私は病弱な子どもで、小学校3年生まで、しょっちゅう熱が上がつては、学校を休むような子でした。風邪を引くたびに頭の下には水枕、額上には氷嚢、背中にタオルを入れられて、熱でうなされ汗びっしりになり、熱が下がつた後には、まるで脱皮をしたセミのように、白く弱々しくなっていました。

子ども心にも神さまがいらっしゃることを知っていた私は、残念ながら神さまとの出会いといったリアルな体験には恵まれず、イエス様は自分とは関係のない謎の人物に過ぎませんでした。でも後になって、あの熱でうなされて、苦しんでいた小学生の頃、何で耐えられたのだろうか、と幾度も考えることになりました。そればかりではありません。クラス全員からいじめを受けていた中学生の頃、大学受験に三度も失敗して浪人をしていた頃、教授からアカデミック・ハラスメントを受けた大学院生の頃、職人気質の仕事で上司からしごかれた社会人の頃、思い返すたびに嫌な気持ちでいっぱいになるのですが、何での時耐えられたのだろうかと考えざるを得ないのです。その謎を解くことが私の使命であるかのように。親にも友達にも先生にも頼れ

た時代に、いるわけはないと思っていたイエス様が私と一緒にいて、支えてくださつたのだ、と気付かされ、涙が溢れ出るのです（説教原稿を書きながら喜びからむせび泣く牧師も珍しい）。何度も何度も人生を投げ出そうとした心の弱い私が、どうにかこうにかここまで来れたのは、自分の力によるものではなく、イエス様のお陰だと言えるからです。人でもない、物でもない、私をここに留めてくださつたのは、この地上につなぎ留めてくださつたのは、他ならぬイエス様だった、ということを今、私は、はっきりと公に言い顯すことが出来ます。

私も洗礼を受けた時以来、イエス様が復活されたことを信じていますが、ペトロがイエス様に出会つたと言われても、パウロがイエス様に出会つたと言われても、正直などところリアルに感じることができません。それよりも「あの方は、あなたがたより先にガリラヤへ行かれる」、意訳して「イエス様は、あなたの方と一緒に先頭に立つてガリラヤへ行かれる」という言葉の方が、よほどリアルに感じられるのです。なぜなら、私にとって“ガリラヤ”とは、私の人生の記憶にあり、辛く苦しい独りぼっちの時代に、絶えずイエス様が先頭に立

つて行かれていたのだ、復活されて私を導いておいでなのだ、だから私は今もこうして地上にいられるのだ、ということを強く感じる事ができるからです。勿論、他の福音書が示すイエス様の復活物語は、それとして大意味深い深いものがあります。しかし、この度マルコ福音書を一から読んでいて、初めてイエス様の復活をリアルに感じることができました。もし他の福音書や書簡を読んでいて、イエス様の復活の出来事を信じられなかつた人がいたとしても、マルコ福音書は信じられるかもしれません。

イエス様の復活は、私たちの人生とつながっています。あなたの“ガリラヤ”はどこにありますか？その“ガリラヤ”に向かつて先頭に立つて行かれるイエス様は、あなたとともに歩んでくださっています。あなたがイエス様の愛にふれ、イエス様と一緒に歩むことができますように。それらの方々をお迎えする私たち教会も、日々イエス様によって新しい命を受け、真心から神と人とに仕えることができますように。祈つてしまいりたいと思います。

歩いて行かれていたのだ、復活されて私を導いておいでなのだ、だから私は今もこうして地上にいられるのだ、ということを強く感じる事ができるからです。勿論、他の福音書が示すイエス様の復活物語は、それとして大意味深い深いものがあります。しかし、この度マルコ福音書を一から読んでいて、初めてイエス様の復活をリアルに感じることができました。もし他の福音書や書簡を読んでいて、イエス様の復活の出来事を信じられなかつた人がいたとしても、マルコ福音書は信じられるかもしれません。

イエス様の復活は、私たちの人生とつながっています。あなたの“ガリラヤ”はどこにありますか？その“ガリラヤ”に向かつて先頭に立つて行かれるイエス様は、あなたとともに歩んでくださっています。あなたがイエス様の愛にふれ、イエス様と一緒に歩むことができますように。それらの方々をお迎えする私たち教会も、日々イエス様によって新しい命を受け、真心から神と人とに仕えることができますように。祈つてしまいりたいと思います。

「岡山教会のコロナ対策」

日本キリスト教団 岡山教会

感知 武

突然起きたコロナ禍で、岡山教会もその対策に追われました。最初は礼拝も諸集会等も全てが中止になりました。その後、人數制限やコロナ対策を行えば再開出来る状況になり、冬でも両サイドの窓を開け、換気扇で空氣の流れを作り、座席は四人掛けで一人が離れて座るようにして、その間を書いたものを全ての椅子の座に間を開けて貼りました。

岡山教会では礼拝を子ども向けの礼拝と大人の礼拝とをしていましたので、これを第一礼拝と第二礼拝とし、信徒が居住する地域（地区の組み合わせを時々変えながら）二つに分け、交替に出席するようにして出席人数を半分にして礼拝を守りました。

感知 武

何回もの礼拝中止や、一四〇周年記念行事や諸々の行事も全て中止になる中、今年度は聖書研究会をZOOMで毎週水曜日の夜に行なうことが出来たのが唯一の救いでした。

今年度末で、西日本豪雨での真備支援やコロナ禍での大変な対応でお働きを頂いた大塚忍牧師、伊勢希牧師のお一人が岡山教会を去られるのに、お送りする会の開催も出来ず、寂しく申し訳ない思いです。

きながら、礼拝のやり方を協議し進めてきました。

そんな中、ZOOMが出来るようになり、出席が出来ない方も参加出来るようになります。途中から一般公開しないFACEBOOKも配信し、参加しやすくなりました。これにより、人数が多い時（五十人を超えた時）や、人の少ないのを望まれる方には四階にもテレビをセットし参考出来るようにしました。

状況が厳しい時は、讃美歌は一節だけ、更には声を発せず心の中で歌うことになりました。

コロナ禍での教会

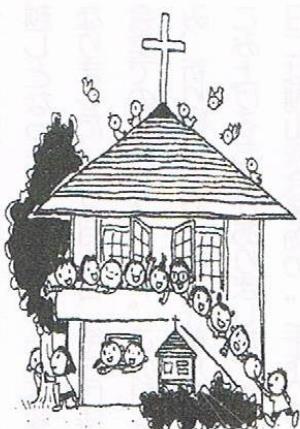
日本キリスト教団 倉敷教会

田嶋俊昭

二〇一九年の秋から新型コロナ感染症により、日本だけではなく全世界で数えきれないくらいの方が苦しみ、そして多くの方が亡くなられました。日本でも3万人近くの方が亡くなられています。まだそのため医療従事者の皆さんを始め、政治・経済・スポーツ・文化・暮らしなどに携わるたくさんの方が大変な苦労をなさっています。職を失った方や収入が激減したところの方も大勢おられます。そしてソーシャルディスタンスの窓 オンライン〇〇などとこれまで使つたことがない言葉が普通の会話の中で使われるようにもなりました。わがキリスト教界も大きな変化を余儀なくされました。教会は人が集まつてなんぼ。同じ信仰を持つ人が共に祈り、ともに主を讃美し、み言葉によって私たちは活かされています。そしてその場所が教会です。それをコロナによって「集まつてはならぬ」と云われたのですからほとんどの教会がパーソナルになつたと思

います。私が行きます倉敷教会はびつたつたのかを振り返つてみたいと思います。二〇年三月一日からコロナ対応で祈祷会・夕礼拝等主日礼拝以外の教会での集会を中止しました。二月二一日からは主日礼拝も休会（教会では、牧師・奏樂者・礼拝奉仕者のみが教会に集まり他の人はフェイスブックによるフェイス中継を実施）としました。また四月に予定されていた教会定期総会は一部書面決議としました。六月一八日からは礼拝を一部制（地区別に礼拝時間をずらす）の礼拝としました。更には感染された方がおられたとき濃厚接触者の早期確認のために礼拝開始時に講壇上から出席者全体の写真撮影を行い方が一に備えました。そして秋・十月一八日には半年遅れでしたのが教会定期総会を行つことが出来ました。しかし〇〇年のクリスマス・キャンドルライトサービスは中止となつてしましました。明け一一年のイースターペリオドは一部制で行つていた主日礼拝を一部制に戻すことが出来、久しぶりに会つ人も多く本当にうれしい恵まれた礼拝でした。その間にフェイスブックによる礼拝出

席者が多いくもあり、加えてコーチコーブでも礼拝の発信を開始しました。その後呼んでもいないのにコロナの第4波が来て再度の主日礼拝休止となつてしましました。この頃は何波になるのわからないなくなることもあります。幸い五月三日からの2回目の礼拝休止も一ヶ月で再開できました。その後現在に至っています。しかし一年度もクリスマスイフのキャンベルライトサービスはやめざるを得ませんでした。そのよつた中であつてもクリスマスイフには牧師先生や奏樂者有志の方が礼拝堂に灯りを点げ、オルガンの音の中で聖書朗読や祈祷が捧げられたことは感謝な時でした。このコロナの波がいつまで続くのかわかりません。教会では集まることが出来ないと云つて断腸の思いで感染防止に対し最善を求めていくしかないのかと思います。そしてコロナが出てきて本當に神じに思ひをしたのは、永年にわたる主に在る交わりをついた友人たちが入院されてもお見舞いに行けず、天に召されたときにお別れが出来ずといったといつぱりです。今朝まで神じにて涙が出て



あります。

その時を待た、そつといかし感謝の祈りを捧げましょ。

月一回の聖餐式では、ユーチュアラ手袋をした一人が銘々の手渡して行きます。

早くコロナが収束し、高齢の方、施設に入居されている方が、共に礼拝を捧げ、聖餐にあずかれますように祈っています。

私たちも手紙を出したり、電話をかけたりして、信徒との交わりを密にしていかなければと思つておもいます。

このシールを使って国を越えて会議が出来たのがになりました。私は毎週決められた曜日に全国各地の仲間と祈祷会を持つ時があります。それでも会つたこともない人たちが多いのですが同じテーマで共に祈りを捧げるのは出来る恵みに感謝しています。わいせん／＼絶対に明けない夜はあります。皆で祈りつつ

集まります。インターネットやスマホを多めの方を使ふようになつていたこともあり、ネット礼拝で田舎において参加ができるようになりました。また会議等もズームなどのシールを使って国を越えて会議が出来たのがになりました。私は毎週決められた曜日に全国各地の仲間と祈祷会を持つ時があります。それでも会つたこともない人たちが多いのですが同じテーマで共に祈りを捧げるのは出来る恵みに感謝しています。わいせん／＼絶対に明けない夜はあります。皆で祈りつつ

その時を待た、そつといかし感謝の祈りを捧げましょ。

あの対応がうれしかったところ」というおつまみ。それはつモードでの礼拝中継が集まるのです。インターネットやスマホを多くの方が使ふようになつていたこともあり、ネット礼拝で田舎において参加ができるようになりました。また会議等もズームなどのシールを使って国を越えて会議が出来たのがになりました。私は毎週決められた曜日に全国各地の仲間と祈祷会を持つ時があります。それでも会つたこともない人たちが多いのですが同じテーマで共に祈りを捧げるのは出来る恵みに感謝しています。わいせん／＼絶対に明けない夜はあります。皆で祈りつつ

それが何か。そのような中でありますかと尋ねて貰う

コロナ禍での礼拝

日本キリスト教団 蕩山町教会

料治睦美

月一回の聖餐を中心とする朝礼拝、水曜日の夜、木曜日の朝の祈祷会は口を開け風通しをよくし、欠かさず行っています。教会の前に大きな道が通りつづねるので、風通しのよい立地状況にあります。

入り口を開かれた教会に入ると、検温。手のアルコール消毒をします。受付が名簿にしるしをつけます。礼拝堂では一つおつとめなう入たちが多いので、風開けて椅子に座ります。礼拝に来られない方はつモードで守つておられる方もいます。

月一回の聖餐式では、ユーチュアラ手袋をした一人が銘々の手渡して行きます。

早くコロナが収束し、高齢の方、施設に入居されている方が、共に礼拝を捧げ、聖餐にあずかれますように祈っています。私たちも手紙を出したり、電話をかけたりして、信徒との交わりを密にしていかなければと思つておもいます。

コロナ禍の教会

日本キリスト教団 湖山教会

森下久美子

コロナ禍がじつもや長くなるのは誰でも同じ様に思つてもみなう事でした。この間大切な友や尊敬する姉妹が天に召されました。お見舞に行く葬儀にも出る事が出来ない別れもありました。1J家族はじこないむつりかっただじょううか。湖山教会の中にも友の中にも入所・入院の家族

と思つ様に面会出来ない方からつりい胸の内をお聞きします。田舎での礼拝になつて直ぐにお声をかけられませど。そこで繋いでくれるのが祈りであり、お便りでした。(スマホは得意ではないのでー)

木谷先生のおかげで、毎週数名の方に説教ブリーフをお送りする事ができます。

(湖山教会の方以外も県外の方も)「木谷先生の説教、何度も読み返しています。慰めと生きていける力を頼いています」等のお返事もあります。神様は「中であつてより大切なものは何かーを教えて下さりた様に思つます。

湖山教会は2019年11月に新会

堂・新牧師館へ引越し責任後2度の引っ越しとなりました。牧師と夫婦には大変な勞となりました。12月1日、待ちに待った新会堂での礼拝がスタート。この日を待ち望み、祈り続けておられた先輩方を想い胸にこみ上げるものがありました。12月24日には湖山教会名物の“手作りラムケーキ”を準備しての「オープニングチャーチ」。ひかり幼稚園の保護者の方々、園児さん、職員さんも父代で足を運んで下さい。多くの方々に集まって頂きました。

新会堂が立たれた事によって

◎一度教会の中に入つてみたかった
◎ラムケーキも食べてみたかった
そんな思いを持たれた方にとつても中に入つて頂ける良ききっかけになつたのだと思ひます。そして保護者の皆さんのお輪の中でもじやかに談笑される木谷牧師の姿にこれから湖山教会の姿が重なりました。これからのどのような企画をして夢ふるむ中、3回連続からコロナウィルス感染が拡大してしまいました。多くの方に祈り支えて頂いて迎えた新会堂式、70周年記念式典も中止せざるを得なくなり、仕方の

ないは事とは云え、はかり知れない残念な思ひでした。4月からせ、会場での礼拝の自粛となり、この様な状況になれば予想だにしていました。そして改つかれました。よく新会堂が立たれた」と一歩間違えば建築工事中断または延期との事にもなるかねない、そのための所での完成であったことを。新会堂を立て、備えて下さったのは間違いなく神様の深い導きであったと。

礼拝・聖書研究でも車の送迎をして下さる方に助けられての出席。積雪の時には「100さんが玄関前をそつと雪かきして下せたんですね」と嬉しい報告を頂けます。施設へ入所の方へも何とかお会い出来ないか、と「懸念しなければですよ」とのアドバイスを下されの方。室内と外で共に讃美し、窓に立つて様にしての牧師のお祈りは窓の向うの姉妹のお気持ちが伝わります。画面がかなわない方にケイタイで連絡を取り合つておられる方、その様子を皆さんに報告して分かち合います。

木谷牧師に相談し心懇くに解して頂き、その日の説教プリントをプリントして手渡して頂いています。必讀に感じて読み易い様に拡大コピー、郵送されたお蔭かしています。共に礼拝を守れるようにです。

【コロナ禍の中の教会】

日本キリスト教団 玉島教会
遠藤ゆう子

何回かの家庭礼拝になつた今も直ぐ

に木谷牧師から週報・礼拝式文・説教プリントが届く方、パソコン等に入つておられる方はプリントして何人かを担当しての配布の効果。それそのためで礼拝プリントを頂き、礼拝を守っています。当たり前のように思つていて会場での礼拝・みことば・説教メッセージがこんなに大切なかけがえのないものだったのか。そのように気づかせて頂いた時、湖山教会の内外でいろいろな事情、体調変化等による教会に行けていない方達の声が……。

し動きの見られた年でした。感染予防を厳重に、マスクを着用しての上です。その為に除菌薬、使い捨て紙タオルを設置、席は間を空ける様に印をする、礼拝が始まる前まで窓を開き風を通しておへ。飲食と共にしない等の工夫を致しました。牧師就任式でお客様の接待に始まり新しい試みもありました。オンラインによる『ワードオルガン講座』教区社会委員会主催の『ズーム研修会』を牧師が準備して下さった事で参加が可能になりました。教会暦に沿った行事をしては聖餐式を個々に小さな容器にセットされたものを用いて執り行われ、クリスマスイブ礼拝とクリスマス礼拝は肅々と教会員参加型の礼拝が守られました。召天者記念礼拝ではフロナの影響でご遺族の出席は例年より少なくてはありますでしたが共に礼拝をする事ができました。今はイースターを迎えるあたり、レントに入つてから毎週の礼拝によって心の準備を整えられています。今年はイースターエッグを開け持ち帰つて頂きます。教会恒例の遠足は人混みの少ない自然の中へ。離れている為に交流の少ない井原教会、高屋

跡にも訪れる事が出来ました。世界祈禱日は玉島教会が会場でしたので準備をさせて頂き、牧師夫妻は早くからテーマとされた国の資料の展示コーナーを作つて下さいましたので私達も当口への関心が高められ、他教会から来られた信徒さん達とも久しぶりの再開の喜びの中で会が進められました。特に地域にある「万所のカトリック教会からも神父様と信徒さんがコロナ禍の中でそれぞれ参加下さった事は準備会場の私達にとって嬉しく思っています。ウィルスの型は変化が続き、感染力も強まり教会周辺にもクラスター発生が増え、今年に入って、我が教会内も濃厚接触者となりられた事例が有りましたが、軽症で治までの感謝でした。身近に起きた事で私達は他の感染された方達への共感を得る事が出来、学ぶ機会も与えられたと思います。感染を恐れる事は必要ですが、過度になれば私達は疲弊し教会も同様になります。それを避けるには近隣教会と連携が今より必要になるのでは無いでしょうか。個人の力では弱く、この時代にあってすべての教

会が神様によつて強くされる事を祈るばかりです。以上が21年度の玉島教会の大まじい動きですが、その他毎月の『聖書講義』『年の会』サークル活動は続けております。

「コロナ禍のハ頭教会と私と」

日本キリスト教団 ハ頭教会

岡田祐子

もう長い間、コロナウイルスの存在を意識しながらマスクとミittenを適連れに暮らしているように思います。連日早朝より「〇〇小学校関係者」感染者が出ました。外出をお控えください。」と町内放送があります。

世界の感染者は五億人を超えて亡くなつた方は六千万人を超えています。そんな中にあってハ頭教会は当初から現在に至るまでコロナ禍のために礼拝が中止になつたことはありません。

感染が拡がりはじめた初期のころ、「一人でも礼拝は続けますよ。」この赤川牧師のお言葉によって教会員は各自自主的に

判断し行動しました。土日礼拝十四～十五名、週一回の聖書研究祈祷会八～九名の集会は、新聞やテレビ放送で世の中が大騒ぎしているにも関わらず以前と変わらず不思議なくらい歓々とやられてしまひました。勿論食を伴う諸集会、クリスマスや感謝会などこの生徒との楽しい交流は遠慮しました。

残念なことは、教会から徒歩十分もかからないところのケアハウスに入居しておられる荒川義治先生はお元気にも関わらず施設側がクラスターを恐れての面会、外出禁止です。毎礼拝の様子をビデオ撮影し届けることで礼拝を共にして、喜んでいたといっています。また、出席できない他の教会員には赤川牧師の説教を週報と共に一回送付しています。

地域社会の諸行事やボランティア活動も次々に延期となり一年が経過して、私たち高齢者は外出もせぬかられ、終日家の中で暮らす日々が続きました。

教会に隣接して社会福祉施設が一つあります。一つは母子が自立を目指して暮らしていく母子生活支援施設。子供たちは地

域の学校へ通学し、母親たちは通勤しながら地域社会で働いています。もう一つは障がい者の通所事業所「パレアナの家」です。ここには日々十四～十五人の仲間が居場所として通所しています。そんな事情から、特に第一波、二波の頃は差別が酷かったこともあり、感染者が出た場合本人や施設に与えられた影響を想定すると、祈りつつも不安は大きなものでした。

そんな中、時がたつにつれ、当たり前のようになっていた教会が開かれ、礼拝が守られてくること、それこそが大きな恵みであることにあらためて気付きました。先の見えない不安の中で生きる勇氣と希望が与えられていること、何よりも嬉しかったです。

神様はどんな困難な時にも恵みを豊かに備えていてください。

「ロナ禍を生きる旭東教会」

日本キリスト教団 旭東教会

森 美樹

私たちの教会は「ロナ禍」であるにもか

かわらず、一度も対面の礼拝を休む」となく充実した時を送っています。

その大きな要因として地の利があります。旭東教会がある西大寺は岡山市の中心地から離れており、人の往来が多くありません。新来会者の少ない事が、私たちの悩みでした。それが「ロナ禍」では幸いしました。

次に旭東教会の会堂には、窓が多くあり、

換気が十分に出来ることも良かつたと思います。礼拝の中で20分で一度、窓の開閉をします。その他、①礼拝堂の椅子には距離を取って座る、②讃美歌は歌う節数を減らす、③講壇と会衆席の間にアクリル板を設置する、④アルコール消毒と検温、⑤インターネットで礼拝を配信、⑥献金袋、備え付け讃美歌と聖書の消毒、これらのこと一人一人が意識し、努力して過ごしていました。

ワイルスへの向き合いで、柔軟に、今まで出来ることを優先に対応していくます。時が許され、礼拝の中で「平和の挨拶」の握手ができる口を開つづけます。

会 計 報 告

2021年11月～2022年2月

会計 清水章文

収 入	支 出	
会費(20名) (会費累計20名)	行事費 総会 書面総会資料用用紙代等	2,650 2,650
献金(3件)	シャローム 編集関係 154号原稿謝礼(川上幹太牧師)	20,192 5,000
贊助会費(2件)	印刷関係 154号発送作業、印刷代等 発送関係費 153号(ヤマト運輸)	5,058 10,134
	会議費 交通費 役員会(11/12) 会場費 役員会(11/12) 事務消耗品費 通知・払込料金 慶弔費 元身伝協会長(篠原せつ師)弔電代	5,500 3,500 2,000 998 3,113
小 計	小 計	32,453
前 月 よ り	次 月 へ	909,312
合 計	合 計	941,765

〔会費・献金の納入を、感謝申し上げます。〕

個別の領収証を希望される方は、遠慮なく

お申し出ください。従来通り送付いたします。

よろしくお願ひいたします。

(敬称略・順不同)

2月末現在資金残高	
定額預金	500,000
普通預金	150,356
振替口座	169,339
現金	89,617
合 計	909,312

(年会費)

(日キ豊島岡教会)濱田美也子 (日キ倉敷水島教会)武文千恵子、小松原昭子、山口真知子、渡辺文子、宮田博子、谷野健、谷野順子、村上美智子

(日キ蕃山町教会)産賀恵子、岡本淑子 (日キ玉島教会)進藤喜美、三宅日奈子、遠藤ゆり子(各2ヵ年分) (日キ八頭教会)赤川祥夫、前橋京子、岡田祐子、

(日キ岡山教会)板野昇子 (日キ津山城西教会)小谷照子(2ヵ年分)

(一般)浜田裕子(2ヵ年分)

(献金)

井口允(日キ琴浦教会) 小谷照子(津山城西教会) 宮岡美子(日キ岡山教会)

(賛助会費)

日キ倉敷水島教会ナルドの会 日キ光明園家族教会

以上

編集後記

難波幸矢

愛するギ障共会員の皆様いかがお過ごしですか。いきなり夏が来たかと思うと冬に逆戻りなどで、体に応えますね。

今回のシャロームは、コロナ禍での各教会の在り方について報告して頂きました。みんなどうしているのだろうと心配になつたからです。「コロナが明けたら、教会員はガタツと減つてゐるよね」等と語り合つようになりましたので、日本キリスト教団岡山教会、倉敷教会、藩山町教会、湖山教会、玉島教会、八頭教会、旭東教会の7教会よりお便りを頂きました。

各教会は国の医療従事者が示すコロナ禍での通常の過ごし方に従つて、窓を開け、離れて座り、讃美歌を縮小し、聖餐式は止め、できれば礼拝や祈祷会、家庭集会や役員会など全て必要最小限形式で。一概には言えませんが高齢者には礼拝参加が困難に見える状況下でした。仕方がないかなと思える状況でした。ところが何と皆様から頂いた報告によるいろいろ工夫され、この際とばかりにネット配信に挑戦や充実をはかり、また高齢者を車で送り迎えする

など、むしろ礼拝が充実したり生き生きした姿を拝見！加えて教会を超えて「うちの牧師の説教を読んで！」と知人友人に説教文を送る等が示され、本当にうれしい状況を拝見することが出来ました。この事を通じて、当たり前のように過ごしていた礼拝の在り方など、各自が気付かされたのではなかとさえ思いました。

また國の方針はそれとして、窓を開け離れて座る等は守りつつ、一切の中止は無く、すべて家庭集会や聖餐式も行い、手紙を出し合うなどの工夫を凝らしつつ教会生活を続けてゐるという報告もありました。

「コロナが明けたら教会員がガタツと」は私の不信から嘆いた言葉だったかもしれません。本当にうれしい報告でした。

それでも末筆になりましたが、2月

24日、ウクライナへのロシアのいきなりの進攻、爆撃、虐殺！…どうしてこんなことに！と怒りと悲しみと不信感でいっぱいになつています。戦争の現場がまるで映画を観るように毎日テレビで見えるようになりました。これはアフガニスタンへの進攻あたりからではないかと思いますが、

これほど度々ではありませんでした。初めて見た時は、強烈な印象で、いきなり爆弾が夜の闇を引き裂いて赤々と飛んでいく状況が映し出され、私は思わず「ちょっと待つて待つて、向こうには人間がいるんだよ」と叫んでしまったことを覚えています。当たり前です。人間をやつつけるのですから！何で戦争なんか？！私たちのできる方法で支援し、心から祈り、自分の身に起こつた事として対処したいと心から思つています。

皆さま、お体お大切に！！

「シャローム」 第一五五号

発行日 一〇一 年五月一日

発行所 東中國キリスト者障害を

共に学び共に担つ会

事務局長 難波幸矢

〒七〇二一八 六五

岡山市中区倉田八五八一八

電話 〇八六一七七一四八七

振替〇三一〇一〇一九〇七六九

加入者 「東中國キリスト者障害共